|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **【様式1】　提案書（研究開発プロジェクト）** | | | | |
| 研究開発プロジェクト名 | *※和文プロジェクト名（e-Radに入力した研究開発課題名）(30字程度)* | | | |
| *※英文プロジェクト名* | | | |
| キーワード | *※貴提案の研究開発内容を端的に表すキーワードを記載してください。e-Radに入力するキーワードと同一のものにしてください。* | | | |
| 応募する  枠組み | (a)課題解決型プロジェクト　／　(b)課題特定型プロジェクト  *※該当する枠組みのみを記載してください。* | | | |
| 研究開発期間 | 2024年10月～ 年 月（　年　ヶ月）  *※設定できる研究開発期間は最大3年6か月（2028年3月まで）です。* | | | |
| 研究開発費（直接経費） | 千円*※総額・間接経費は含みません。*  *(a)課題解決型プロジェクト 1,200万円／年、総額4,200万円上限*  *(b)課題特定型プロジェクト 750万円／年、総額2,625万円上限* | | | |
| 研究代表者  氏名 | （フリガナ） |  | 生年月日  （西暦） | 年 月 日（ 歳）  (2024年4月１日現在) |
| （漢字等） |  |
| 研究代表者  所属機関・  部署・役職 |  | | | |
| 協力組織 | *※共同研究機関や協力機関など、プロジェクトに参画する関与者・組織を記載してください。* | | | |
| 本提案の  エフォート | 2024年度：　　　　　％  *※研究代表者のエフォートについて記載してください。* | | | |
| 総括との  利害関係 | プログラム総括との利害関係が　　　　　　　　　　　　　　□ある　　　　□ない  *※「様式10利益相反マネジメント」と対応させてください。* | | | |
| アドバイザーとの利害関係 | プログラムアドバイザーとの利害関係が　　　　　　　　　　□ある　　　　□ない  *※「様式10利益相反マネジメント」と対応させてください。* | | | |
| 研究開発提案者の利益相反 | 研究代表者に関係する機関に所属する主たる実施者の参画が　□ある　　　　□ない  *※「様式10利益相反マネジメント」と対応させてください。* | | | |
| 備考欄 |  | | | |

*・・・様式1は１ページ以内・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

|  |  |
| --- | --- |
| **【様式２】　研究開発プロジェクトの要旨** | |
| プロジェクト名 | *※和文プロジェクト名（e-Radに入力した研究開発課題名）(30字程度)* |
| 研究代表者 | *〇〇　〇〇（所属機関・部署・役職）* |
| 【プロジェクトの要旨】  *※以下の項目について要旨を分かりやすく簡潔に記載してください。*  １．プロジェクトの概要  *※本提案の目標および実施内容の概要を簡潔にまとめ、300～500字程度で記載してください。*  ２．研究開発要素①②③の概要  *※(b)課題特定型プロジェクトへの応募にあたっては、研究開発要素①の内容を主としますが、②③についても展望を簡潔に記載してください。*  （１）研究開発要素①「トラスト形成のメカニズム理解、阻害要因の分析」  （２）研究開発要素②「分析結果を踏まえた対策の開発」  （３）研究開発要素③「社会実装手法と効果測定法の提案」 | |

*・・・様式2は１ページ以内・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式３】　研究開発プロジェクトの構想**

*※公募要領「第2章 公募・選考にあたってのプログラム総括の考え方」および「第3章 研究開発プログラムの概要と募集の枠組み」に記載のプログラム総括の方針、並びに公募要領「4.8 選考にあたっての主な評価項目」もあわせて必ずご確認ください。*

*※研究開発内容や計画、実施体制などの詳細は、様式4～様式6にて記載いただきます。様式3では、研究開発構想の全体像やポイントを、分かりやすく記載してください。*

*※評価者が理解しやすいように、必要に応じて、適宜図表（カラー可）も用いてください。*

**1．プロジェクトの目標**

*※研究開発プロジェクトで達成する目標について、簡潔かつ明確に記載してください。*

**２．研究開発プロジェクトで対象とする具体的な問題とその背景**

*※プロジェクトの対象とする課題は何か、どのような課題現場が想定され、解決にあたりどのような「社会的背景や原因」があるのか、について客観的な根拠に基づいて提示してください。*

**３．研究開発プロジェクトの意義や独創性**

*※これまでの類似の取り組みや政策・施策、研究等では、なぜ問題が解決できないのか、国内外の関連する研究開発や取り組みの動向とその課題を整理した上で、プロジェクトの意義や独創性を提示してください。*

**４．プロジェクトの目指す社会像、将来ビジョン**

*※提案する研究開発プロジェクトを通じて、誰/何に対するどのようなトラストを形成/維持するのか、また、それによってどのような現場の姿（社会像）を目指すのか、将来的な成果活用の時期（必ずしも、成果の実装までをプロジェクトの研究開発期間内に組み込む必要はありません）も含め、ビジョンを記載してください。*

**５．プロジェクトの目標達成のために解決すべき課題、ボトルネック**

*※プロジェクトの目標達成に向けた研究開発の推進や実装上の課題・障壁や困難さ等のボトルネックや考えられるリスク（多様な研究分野、課題現場との連携や、実施項目が失敗する可能性）などを提示するとともに、その場合の解決策や代替案の提案について記載してください。*

**６．プロジェクトの創出する成果の活用・展開**

**（１）プロジェクトの創出するアウトプット、想定するアウトカム**

*※提案する研究開発プロジェクトを通じて、具体的にどのよう成果（アウトプット）を創出し、課題現場や社会にどのようなアウトカムをもたらすのか、記載してください。*

*※アウトプットについて、(a)課題解決型プロジェクトにおいては、課題現場に対する解決策の社会実装方法や効果測定法、(b)課題特定型プロジェクトにおいては、課題現場の声を反映した施策の実現に向けたシナリオやモデル等を想定していますが、これらにとらわれず、提案内容に応じた適切なアウトプットを提示してください。*

**（２）プロジェクトの成果の波及効果、インパクト**

*※プロジェクトの成果がどのようなインパクト（学術的・公共的価値の創出、現在及び将来の社会・産業ニーズへの貢献、国内外の他の分野・地域への波及・展開など）をもたらし得るのか、提案時点での想定を記載してください。その際、どのような長期的アウトカムがSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の達成に貢献できるのか、展望を含めてください。*

**（３）プロジェクトの限界**

*※プロジェクトの成果等に対して、研究開発終了後に、まだ何が課題として残されるのか、研究開発プロジェクトの限界点についても記載してください。*

**７．アピールポイント（その他特記事項）**

*※以下のような事項について特記すべきことがあれば簡潔に記載してください。（必須項目ではありません。）*

*例えば：*

*・ステークホルダー（様々な研究分野、課題現場等）との協働や連携のための工夫*

*・研究開発プロジェクトの国際的優位性*

*・若手研究者および女性研究者の積極的な参画と人材育成に果たす効果*

*・現在までの準備状況や実績（既に一定の研究開発成果が創出されている場合を含む）*

*・・・様式３は６ページ以内（目安）・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式４】　研究開発プロジェクトの計画**

*※研究開発の内容と計画について、主な実施項目ごとに、研究開発の内容とその方法などについて具体的に記載してください。*

*※本様式「１．研究開発実施スケジュール」と「２．研究開発実施項目と具体的方法」との整合に留意してください。*

**１．研究開発実施スケジュール**

*※「１．研究開発実施項目と具体的方法」と様式5「２．研究開発実施体制（グループ別）」との整合性に留意しながら、以下の記載例を参考に、主なスケジュールと、担当するグループ（G）名を記載してください。*

*※各実施項目間の関係性が分かるように記載してください。また、できるだけPDCAや、マイルストーン（いつまでに何を達成するのか、目標達成に向けて節目となる工程や指標）を記載してください。*

*※実施期間や項目数、矢印の位置や長さ・太さなどは適宜編集してください。*

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究開発項目** | **初年度** (6か月) | **2年度** (12か月) | | **3年度**  (12か月) | | **最終年度**  (最長12か月) |
| **大項目1**  **中項目1－１**  ○○グループ  **中項目1－２**  △△グループ |  | マイルストーン |  |  |  |  |
| **大項目2**  **中項目2－１**  ○○グループ  **中項目2－２**  △△グループ |  |  |  | 主となる計画  収拾策 |  |  |
| **大項目3**  **中項目3－１**  ○○グループ  **中項目3－２**  △△グループ |  |  |  | マイルストーン |  |  |
| **大項目4**  **中項目4－１**  ○○グループ  **中項目4－２**  △△グループ |  |  |  |  |  |  |

**２．研究開発実施項目と具体的方法**

*※本項目内の見出しなどは、適宜設定・編集してください。*

*※各実施項目について、研究開発要素①～③との対応が分かるように記載してください。提案時点で全ての研究開発要素に着手していることを求めるものではありませんが、研究開発実施期間中にどのように研究開発要素を発展させていくのか、各実施項目間の関係性が分かるように記載してください。また、できるだけPDCAや、マイルストーン（いつまでに何を達成するのか、目標達成に向けて節目となる工程や指標）を記載してください。*

*※多様な関与者からフィードバックを受ける方法や、研究開発の節目に公表等を行い外部から適切に意見を集め、検証・改善していく方法についても記載してください。*

*※提案時点で、提案内容に関連する全てのステークホルダーの参画を求めるものではありませんが、研究開発要素の発展に応じてどのように体制を拡充していくのか、構想を具体的に記載してください。*

*※評価者が理解しやすいように、必要に応じて、適宜図表（カラー可）も用いてください。*

■項目1：○○○○○○○○○○○○○○○○

（１）○○○○○○○○○○

（２）○○○○○○○○○○

■項目2：○○○○○○○○○○○○○○○○

■項目3：○○○○○○○○○○○○○○○○

■項目４：○○○○○○○○○○○○○○○○

**３．提案にあたっての準備状況**

*※プロジェクトを推進するにあたり基盤となる、*

*・提案者自身（必要に応じてプロジェクトの他の実施者）のこれまでの研究開発の経緯や実践的な取組の成果*

*・現時点でのプロジェクト実施者間及び問題解決に取り組む人々との関係性の構築状況、今後の見込み*

*・その他、予備的な知見やデータ（存在する場合）*

*について具体的に記載してください。*

*・・・様式4は５ページ以内（目安）・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式5】　研究開発プロジェクトの実施体制**

**１．研究開発実施体制（プロジェクト全体）**

*※研究開発体制を図示してください（以下の記載例は参考です、形式自由）。*

*※グループを構成する場合、提案するプロジェクトの内容や計画に合わせて、適切に設定してください（JSTとの委託研究契約を締結する機関の単位でなくとも構いません）。*

*※グループを構成する場合、グループリーダーの「氏名・所属・役職（専門分野）」と各グループの「主な役割」を記載の上、グループ間の関係性が分かるように示してください。*

*※研究開発実施者以外の協力者がいる場合には、協力者との関係についても記載してください。*

＜記載例＞

**２．研究開発実施体制（グループ別）**

*※グループごとにメンバーを記載してください。*

*※研究実施者は複数のグループに所属することができます。*

**２－１．〇〇〇グループ（研究代表者が率いるグループ）**

**（１）実施項目**

*※「様式４」の「１．研究開発実施スケジュール」に記載した実施項目の中から記載してください。*

**（２）プロジェクトにおける本グループの位置づけ**

*※当該グループが、プロジェクト全体の中でどのように位置づけられるのか、その役割を記載してください。また、複数グループがある場合には他グループとの関係性を簡潔に説明してください。*

**（３）実施者リスト**

*※エフォートには、実施者の年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち本プロジェクトの実施に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。エフォートは、予算執行を行う研究担当者（委託研究を中心的に行う者として委託研究契約書に記載される者（研究代表者、主たる実施者））について記載し、他は斜線にしてください。*

*※研究実施者の内、提案時に氏名が確定していない場合は「研究員〇名」「アルバイト〇名」といった記載でも構いません。*

*※研究実施者の行は必要に応じて追加してください。*

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究代表者**  **氏名** | **所属** | **役職**  **（身分）** | **エフォート** | **役割** |
| *○○ ○○* | *○○大学 ○○学部* | *准教授* | *○○%* | *統括・全体調整* |
| **研究実施者**  **氏名** | **所属** | **役職**  **（身分）** | **エフォート** | **役割** |
| *○○ ○○* | *○○市○○課* |  |  | *地域との調整、ニーズ探索* |
| *○○ ○○* | *○○大学○○部* | *教授* | *○○%* | *○○研究の設計・研究者の探索* |
| *研究員○名* |  |  |  |  |

**２－２．〇〇〇グループ**

*※複数のグループを構成する場合、２－１と同様に、以下にグループごとに記載してください。グループ数に上限はありませんが、研究代表者の研究開発構想の遂行に最適で必要十分なグループを編成してください。*

*※グループ数に応じて、本項目をコピーして追加してください。*

**（１）実施項目**

**（２）プロジェクトにおける本グループの位置づけ**

**（３）実施者リスト**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **グループ**  **リーダー**  **氏名** | **所属** | **役職**  **（身分）** | **エフォート** | **役割** |
| *○○ ○○* | *○○大学 ○○学部* | *准教授* | *○○%* | *ワークショップの設計・実施* |
| **研究実施者**  **氏名** | **所属** | **役職**  **（身分）** | **エフォート** | **役割** |
| *○○ ○○* | *○○大学○○部* | *教授* | *○○%* | *○○研究の設計・研究者の探索* |
| *○○ ○○* | *○○市○○課* |  |  | *地域との調整、ニーズ探索* |
| *研究員○名* |  |  |  |  |

**３．その他の研究開発協力者・機関**

*※プロジェクトに直接的に参画するのではないが、プロジェクトや各グループの活動に、何らかのかたちで連携・協力する者や機関（すでに了解を得ている、あるいは交渉中である者や機関）があれば、ここに記載してください。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 協力者・協力機関名 | 協力内容 | これまでの 協力関係の有無 |
| *○○大学 ○○学部 ○○○○教授* | *○○実施の協力* | *有* |
| *○○○○株式会社 ○○部* | *○○のデータ提供、現場との連携調整* | *有* |
| *○○市役所 ○○部 ○○課* | *○○に関する助言* | *無* |
| *NPO法人○○ ○○○○理事* | *○○に関する助言、協力* | *有* |

**4．実施体制に関する特記事項（代表者の特別任務、所属機関の変更、海外機関の参画）**

*※研究代表者が、特別の任務（研究科長等の管理職、学会長など）により仕事時間（エフォート）を要している場合には、その旨を記載してください。*

*※研究代表者及び主たる実施者が、現在の所属機関と、採択後（2024年10月以降）に研究を実施する機関が異なる場合には、その旨を記載してください。*

*※海外の機関に所属する方が、海外の機関を拠点に主たる実施者としてプロジェクトに参加される場合、その理由を記載してください（「5.10 海外の機関に所属する方が主たる実施者として参画する場合」「第8章 提案公募Q&A」参照）。*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式６】　研究開発費の見込み**

*※研究開発費の見込みについて、費目別、研究グループ別の計画を年度ごとに記載してください。*

*※面接選考の対象となった際には、さらに詳細な計画を提出していただきます。*

*※予算計画は、本事業全体の予算状況、プログラム総括によるマネジメント、課題評価の状況などに応じて、採択時や研究開発期間の途中に見直されることがあります。*

**１．費目別の研究開発費（直接経費）の見込み（全期間/プロジェクト全体）**

*※研究開発費の費目と使途は以下のとおりです（公募要領「5.5 研究開発費」も参照してください）。*

*- 物品費／設備備品費：設備・備品を購入するための経費*

*- 物品費／消耗品費：材料・消耗品を購入するための経費*

*- 旅費：研究代表者や研究実施者等の旅費、研究開発の遂行に直接的に必要な招聘旅費等*

*- 人件費・謝金：研究員・技術員・研究補助員、RA等の人件費、謝金*

*- (研究員等の数)：研究開発費で人件費を措置する予定の研究員等の人数*

*- その他：上記以外の経費（研究成果発表費用、会議費、機器リース費、運搬費等）*

*※間接経費は、原則直接経費の30％を上限として措置されます。*

単位：千円

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 費目 | | | 初年度  (最大6ヵ月) | 2年度  (12ヵ月) | 3年度  (12ヵ月) | 最終年度  (最大12ヵ月) | 合計  (千円) |
| 直接経費 | 物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |
| 旅費 | |  |  |  |  |  |
| 人件費・謝金  (研究員等の数) | | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) |  |
| その他 | |  |  |  |  |  |
| 直接経費 小計 | |  |  |  |  |  |
| 間接経費 (上記経費の30%以内) | | |  |  |  |  |  |
| 合計 | | |  |  |  |  |  |

**特記事項**

*※多額の人件費や旅費など、特定の費目が研究開発費総額の50%を超える場合は、その理由を記載してください。該当しない場合は、項目は残したまま「（該当なし）」と記載してください。*

**２．研究開発費（直接経費）の内訳（2024年度/契約予定機関別）**

*※2024年度（6ヶ月分）の主な使途について、研究開発費の内訳をJSTからの研究開発費の配分を必要とする参画機関（契約予定機関）毎に記入してください。*

*※JSTでは提案課題の選考と並行して研究契約締結のための事前調査を実施しています。本項に2024年度の契約予定機関として記載の無かった機関とも採択後の契約締結は可能ですが、事前調査が研究開始に間に合わず、当該機関との契約締結が遅れる可能性があります。なお、契約のための事前調査の結果は、提案課題の選考の経過・結果に影響を与えるものではありません。*

| 契約予定  機関  （研究代表者/主たる実施者） | 費目 | 品名 | 積算根拠（単価・個数等）  （千円） | 概算額 （千円） |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| *研究機関名*  *（研究代表者名）* | *物品費*  *旅費*  *人件費・謝金*  *その他* | *ソフトウェア*  *国内出張*  *技術補助* | *@16×1個=16*  *@20×10回=200*  *@1/時間×6時間/日×20日/月×6ケ月=720* | *936* |
| *研究機関名*  *（主たる実施者名）* | *物品費*  *旅費*  *人件費・謝金*  *その他* | *ソフトウェア*  *国内出張*  *技術補助* | *@16×1個=16*  *@20×10回=200*  *@1/時間×6時間/日×20日/月×6ケ月=720* | *936* |
| *研究機関名*  *（主たる実施者名）* | *物品費*  *旅費*  *人件費・謝金*  *その他* | *ソフトウェア*  *国内出張*  *技術補助* | *@16×1個=16*  *@20×10回=200*  *@1/時間×6時間/日×20日/月×6ケ月=720* | *936* |

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式７】　他制度での助成等**

*※研究代表者及び主たる実施者が現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的研究費制度やその他の研究助成等（民間財団、海外機関を含む）について、制度名ごとに、研究開発課題名、研究期間、本人受給研究費の額、役割、エフォートを記入してください。*

*※公募要領「6.2　不合理な重複・過度の集中に対する措置」も参照してください。*

*※記載内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。*

*※面接選考の対象となった際には、最新の他制度の助成状況を申告・提出していただきます。*

**研究代表者：〇〇　〇〇**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 受給 状況 | 研究開発課題名 （代表者氏名） | 研究期間 | 役割  (代表 /分担) | 本人受給研究費  （直接経費） | | ｴﾌｫｰﾄ  (％) |
| (1)期間全体  (2)2025年度予定  (3)2024年度予定  (4)2023年度実績 | |
| SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（情報社会における社会的側面からのトラスト形成（デジタルソーシャルトラスト））※本提案 | 申請中 |  | *2024.10 ～ 2028.03* | *代表* | (1)  (2)  (3)  (4) | *30,000*千円  *8,000*千円  *4,000*千円  ― | *20* |
| *科学研究費補助金基盤研究（B）* | *受給* | *××による◇◇の開発*  *（○○○○）* | *2021.04*  *－*  *2025.03* | *代表* | (1)  (2)  (3)  (4) | *15,000*千円  ―  *3,500*千円  *8,000*千円 | *20* |
| *○○財団助成金事業* | *受給* | *××による◇◇の分析*  *（○○○○）* | *2024.4*  *－*  *2025.3* | *代表* | (1)  (2)  (3)  (4) | *1,000*千円  ―  ―  *1,000*千円 | *5* |
| *戦略的創造研究推進事業（CREST*） | *申請*  *予定* | *××による◇◇の創成*  *（○○○○）* | *2024.10*  *－*  *2029.03* | *分担* | (1)  (2)  (3)  (4) | *30,000*千円  *8,000*千円  *5,000*千円  ― | *20* |
|  |  |  |  |  | (1)  (2)  (3)  (4) |  |  |

※以下、適宜項目をコピーして記載ください。

**主たる実施者：△△　△△**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 受給 状況 | 研究開発課題名 （代表者氏名） | 研究期間 | 役割  (代表 /分担) | 本人受給研究費  （直接経費） | | ｴﾌｫｰﾄ  (％) |
| (1)期間全体  (2)2025年度予定  (3)2024年度予定  (4)2023年度実績 | |
| SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（情報社会における社会的側面からのトラスト形成（デジタルソーシャルトラスト））※本提案 | 申請中 |  | *2024.10 ～ 2028 .03* | *分担* | (1)  (2)  (3)  (4) | *12,000*千円  *4,000*千円  *2,000*千円  ― | *15* |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式８】　関連する業績・取組リスト**

**（１）研究代表者**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 〈経歴〉  *※学歴や職歴、取り組みや研究開発の内容について簡単に記載してください。* | |
| 〈主要な実績〉  *※近年実施した取り組み、著書、学術論文、雑誌・新聞投稿記事等の成果のうち、この提案内容に関連するもの5件以内を選んで、現在から順に実施・発表年次を過去に遡って記入してください。研究代表者本人が代表者・筆頭著者のものについては頭に＊印を付けてください。*  *＜著書・学術論文等の成果の場合＞*  *（著者（著者は全て記入してください。）、発表論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年）*  *＜取り組みの成果の場合＞*  *（実施主体、取り組みの概要、実施した場所、実施期間、成果等を記載してください。）* | |
| 〈RISTEXにおける研究開発への参画経験〉  *※過去に社会技術研究開発センターにおける研究開発への参画経験があれば、領域・プログラム名、プロジェクト名、当時の研究代表者名を記載し、自身がどのような役割を担っていたのかについて簡潔に記載してください。* | |

*・・・ 研究代表者１人につき１ページ（目安） ・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**（２）グループリーダー**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 〈経歴〉  *※学歴や職歴、取り組みや研究開発の内容について簡単に記載してください。* | |
| 〈主要な実績〉  *※近年実施した取り組み、著書、学術論文、雑誌・新聞投稿記事等の成果のうちこの提案内容に関連するもの5件以内を選んで、現在から順に実施・発表年次を過去に遡って記入してください。グループリーダー本人が代表者・筆頭著者のものについては頭に＊印を付けてください。*  *＜著書・学術論文等の成果の場合＞*  *（著者（著者は全て記入してください。）、発表論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年）*  *＜取り組みの成果の場合＞*  *（実施主体、取り組みの概要、実施した場所、実施期間、成果等を記載してください。）* | |
| 〈RISTEXにおける研究開発への参画経験〉  *※過去に社会技術研究開発センターにおける研究開発への参画経験があれば、領域・プログラム名、プロジェクト名、当時の研究代表者名を記載し、自身がどのような役割を担っていたのかについて簡潔に記載してください。* | |

*・・・ グループリーダー１人につき１ページ（目安） ・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*

**【様式９】　人権の保護及び法令等の遵守への対応**

*※研究開発計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究開発、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究開発、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究開発など法令等に基づく手続きが必要な研究開発が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記載してください。  
例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究開発機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。*

*※チーム内に海外の共同研究グループが含まれる場合は、研究開発代表者グループ及び国内の共同研究開発グループの安全保障貿易管理に係る規程の整備状況について、必ず記載ください。*

*※なお、該当しない場合には、その旨記載してください。*

**【様式10】　利益相反マネジメント**

*※評価者（プログラム総括、プログラムアドバイザー）との利害関係の有無、及び研究代表者に関係する機関の参画の有無について、以下のチェック項目にて申告してください。該当する場合は、その内容を具体的に記載してください。*

*※利益相反マネジメント、利害関係の定義など詳細については、公募要領「4.7.2 選考体制と利益相反マネジメントの実施」もご確認ください。*

*※プログラム総括及びプログラムアドバイザーの一覧は、以下のウェブページを参照ください。*

*https://www.jst.go.jp/ristex/funding/solve-digist/index.html*

**１．研究代表者と、プログラム総括との利害関係の有無**

　　　プログラム総括との利害関係が　 ある　　　 ない

　　　利害関係の理由・内容：

　　　＜記載例＞現在進行中のものではないが、過去、〇〇事業「プロジェクト」（代表者○○、20XX～20XX年）にてプログラム総括と共同研究を実施しており、利害関係にあたる可能性がある。

**２．研究代表者と、プログラムアドバイザーとの利害関係の有無**

　　　プログラムアドバイザーとの利害関係が　 ある　　　 ない

　　　利害関係にあるアドバイザー名：○○ ○○

　　　利害関係の理由・内容：

　　　＜記載例＞現在、同一の組織に所属しており、利害関係者にあたる。

公募要領「4.7.2 選考体制と利益相反マネジメントの実施  
（1）選考に関わる者の利益相反マネジメント」**利害関係者の要件**（要旨）

　　a. 提案者と親族関係にある者。

　　b. 提案者と大学等の研究機関において同一つの学科、専攻等に所属している者又は被評価者等が所属している大学等若しくは大学等を経営する法人の役員その他経営に関与していると見なされる者及び当該法人を代表して対外的に活動する者。

　　c. 提案者と同一の企業に所属している者又は被評価者が所属している企業の親会社等にあたる企業に所属している者。

　　d. 提案者と緊密な共同研究を行う者。(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、  
同一目的の研究メンバー、あるいは提案者のプロジェクトの中での研究分担者等、提案者と  
実質的に同じ研究グループに属していると考えられる者。)

　　e. 提案者と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者。

　　f. 提案者のプロジェクトと直接的な競争関係にある者。

　　g. その他JSTが利害関係者と判断した者。

**3．研究代表者に関係する機関に所属する、主たる実施者の参画の有無**

　　　研究代表者に関係する機関に所属する、主たる実施者の参画が　 ある　　　 ない

　　　該当する機関名（研究者氏名）：○○○○株式会社（○○ ○○）

　　　その理由・内容：

　　　＜記載例＞研究代表者の研究開発成果をもとに設立した機関であり、現在は技術顧問の立場で直接経営には関わっていないが、2024年7月より役員に就任する可能性がある。

公募要領「4.7.2 選考体制と利益相反マネジメントの実施  
（2）研究代表者の利益相反マネジメント」**研究代表者に関係する機関の要件**（要旨）

　　「研究代表者に関係する機関」とは、以下のいずれかに該当する機関をいいます。  
なお、a及びbについては研究代表者のみではなく、研究代表者の配偶者及び一親等内の  
親族（以下、「研究代表者等」という）についても同様に取り扱います。

　　a. 研究代表者等の研究開発成果を基に設立した機関。（直接的には経営に関与せず技術顧問等の  
肩書きを有するのみの場合、株式を保有しているのみの場合を含む。）

　　b. 研究代表者等が役員（CTOを含み、技術顧問を含まない。）に就任している機関。

　　c. 研究代表者が株式を保有している機関。

　　d. 研究代表者が実施料収入を得ている機関。

*・・・ 様式9、様式10で2ページ程度（目安） ・・・*

*青字部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。*